

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > さいたま市立 さくら草特別支援学校 >>>>>>>>

本校は、肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒が在籍するさいたま市2校目の特別支援学校です。学校教育目標を「夢と希望をもち、自らの力を発揮し、共に生きる子どもを育てる」とし、児童生徒一人ひとりの障害の状態等に応じた指導を行っています。まだ歴史は浅いですが、地域学校協働活動と特別支援教育への理解促進活動によって、地域に根ざした学校を目指しています。



■所在地：さいたま市緑区三室 636-80 ■電話：048-712-0395  
 ■FAX：048-872-7272 ■交通：JR北浦和駅より市立病院行きバスで15分

### 01 地域と共に協働活動



本校では、開校以来、児童生徒が近隣地域宅に訪問し、学校日より等を届ける活動を行っています。また、地域住民や地元ボランティア団体、手話サークル、ロータリークラブ、近隣幼稚園などと連携し、ふれあいコンサートを定期的に開催しています。手づくり楽器による全員合奏、手話披露、園児の踊りなど、児童生徒とのふれあいを中心とする全員参加型として地域ぐるみの文化音楽活動を展開して、学校理解を図るとともに連携協働体制の深化に繋がっています。他にも校地内の花卉栽培、学校行事の運営支援、交流作品展など、地域や諸機関と学校との協働活動が定着しつつあります。

### 02 交流及び共同学習の推進



本校では、近隣の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専門学校等と積極的に交流及び共同学習を行っています。



学校間交流では、学部ブロックごとに他校へ出向いたり、お迎えしたりして、一緒に授業をしたり、ポッチャを楽しんだりして交流を深めています。感染症の感染状況により、自己紹介や学校の様子についてオンラインで近隣の学校と交流を行うなど、コロナ禍でも工夫して実施をしています。居住地校交流では、本校の児童生徒が居住している地域の小・中学校の学級に入って、授業や学校行事等に参加しています。

### 03 海外の子どもたちに車椅子を送る活動



子どもの成長に伴って使用しなくなった車椅子は、廃棄するには高価でもったいないと思うものの、有効活用が容易ではありません。

そこで、本校では、使用しなくなった車椅子を、NPO法人「海外に子ども用車椅子を送る会」を通して、海外の車椅子を手に入れることが困難な恵まれない子どもたちに無償で届けて、国際的な支援と海外の子どもたちの福祉向上に努めています。